

人権集会を行いました

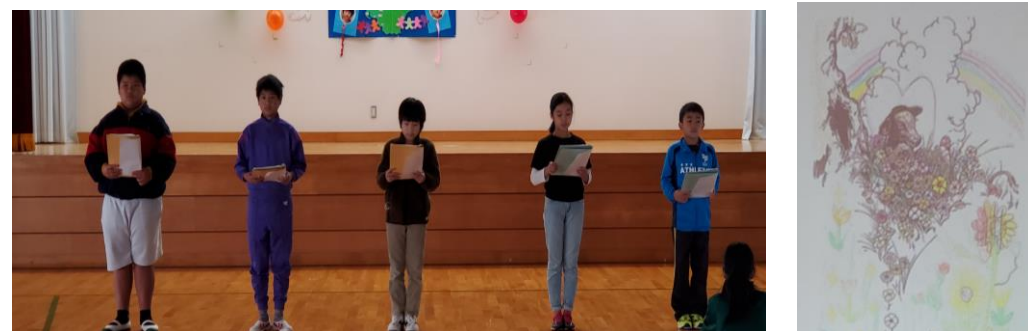
12月10日(木)の5時間目に体育館で人権集会を行いました。初めに、校長先生より講話がありました。直接的な暴力や言葉でなくても、表情、態度、物音、笑う声など間接的なものから「嫌な感じ・嫌な空気」というものは周囲に広がっていくものだということ、逆に「すがすがしさ・良い感じ」も周囲に広がっていくこととお話しいただきました。児童生徒のみなさんは「自分は嫌な感じを出していないだろうか、良い感じを出せているかな？」と自分自身を振り返っている様子でした。いじめや差別を見逃さず、「良い感じ」の学校をつかっていきたいものです。



各学年の発表は、次のような内容でした。

小学生・・・「はなのすきなうし」の朗読・色を塗った感想紹介

絵本「はなのすきなうし」を表情豊かに朗読しました。牛飼いたちに勘違いされて闘牛場へ連れて行かれたものの、どんなにけしかけられても最後まで花の香りをかいていたフェルジナンドや、その母牛の姿に心を打たれました。それぞれが持っている考え方や生き方を大切にしていくことの大切さを教えてもらいました。児童のみなさんが想像を膨らませて美しく色を塗った挿絵も素敵でした。



中学生・・・新型コロナウイルス感染症と人権

中学生は、「新型コロナウイルス感染症によって生まれる差別」について学習したことを発表しました。「もしもコロナ感染の影響で行事が中止になった場合、どのように気持ちの整理をつけるか」というテーマで話し合ったことで、「感染者を責めたい感情」と「感染した人の不安な感情」のどちらも想像することができていた様子でした。その後、元気の出る人権メッセージを紹介していました。

